

# かもすい通信

2025 冬号

## Contents

- 館長のこぼなし
- News Topics
  - 休館直前！特別イベントを開催しました
  - リニューアル情報 ~ その3~
  - フーデバーでの出張営業
  - 台中海洋館 オープニングセレモニーに参加してきました
  - ゆっくり水族館を開催しました
  - 練馬区出張クラゲ学習会
  - 「音楽の夕べ」終了のお知らせ
  - 釣り採集日誌 ~ マアジ ~
- できごと
- インフォメーション

タコクラゲ (エフィラ)  
*Mastigias albipunctata*

photo: Murai Takashi

# 館長のこぼなし リニューアル

リニューアルも佳境に入り全容が見え出した。増築部分は8月に引き渡され既に準備万端。28年のクラゲ飼育技術をすべて注ぎ込んだ施設は本当にすごいよ。11月からは臨時休館して館内の解体工事が始まり、ちらりと見たがこれまた凄いことになっていた。100種を目指す体制も整えた。こればかりは誰もトライしたことがないので、少し足りなくてもしょうがないかな。3月の内覧会まで映像や画像の公開はしないつもりだが、見せたくてうずうずしている。我慢できるだろうか。(奥泉)

## News Topics

### 休館直前！特別イベントを開催しました

#### 10月31日は水族館を無料開放

11月よりリニューアル工事のため3月まで、5カ月間の休館期間に入りました。しばらくクラゲたちを見てももらえなくなります。休館前にしばしの別れを惜しんでもらえたらと企画したイベントの一つが、休館直前の「1日無料開放」でした。開催日が平日、金曜日ということもあり、実際皆さん来てくれるだろうかという思いもありましたが、ふたを開けてみるといつも以上の賑わいとなり、この日だけで前年比3倍以上と大変多くの方にご来館いただきました！ここで一旦休館となりますが、また4月のご来館お待ちしております！（渡辺）

#### ライブ配信を行いました！

10月31日の閉館後にクラゲドリームシアター前で「休館直前ライブ配信」を行いました。トークライブは水族館公式YouTubeチャンネルで配信し、会場にも一般のお客さまも観覧していただきました。トークライブには館長とクラゲ担当の飼育員が参加し、休館目の想いやリニューアル後の水族館がどのようになるのかを話していきました。話の中では新棟施設の一部を公開し、トークライブでしか聞くことができないものとなりました。(玉田)



▲ライブ配信の様子

#### 休館直前限定 記念ステッカーを配布

11月1日からの臨時休館を控え、10月1日から「休館直前限定 記念ステッカー」を配付しました。配付枚数は3万枚限定で、デザインは、工事用ヘルメットをモチーフにしたクラゲを中央に配置したステッカーです。12月から鶴岡駅前のフーデバーに一時的に移転したレストラン「沖海月」と、グッズショップ「海月灯り」をご利用していただいた際に提示していただくと、クラゲソフトのサービスや、10%割引を受けられる特典付きのワクワク感いっぱいステッカーでした。(池田 丈)



▲配布したステッカー

## リニューアル情報 ~その3~

### 解説コーナーの引越し作業

臨時休館してすぐに解説コーナーのクラゲたちの引越しが行われました。この場所では比較的小さなクラゲたちを小型の水槽で数多く展示していました。たくさんの水槽をいそいそ取り出して、みんなでせっせと新棟の展示室へと運び入れます。もともと4つの温度で管理していたので、引越し先で温度を間違えないように設置です。すべて移動した後はちょっとひと息…とはいかず、クラゲたちが心地よく漂えるように水流調整です。そして残された飼育機器をきれいに掃除して裏にしまい込みます。よし、終了!!と、満足して何もなくなった解説コーナーを見て、寂しさも感じつつも新しく生まれ変わる展示室を想像してワクワクも同時にこみ上げてくるのでした。(佐藤)



▲この場所で「クラゲのおはなし」を実施していました。



▲どんどん運ばれていき、空になっていく水槽

### フードバーでの出張営業

リニューアル工事のため休館となり、レストラン「沖海月」やグッズショップ「海月灯り」もお休みとなります。そんな折、鶴岡駅前の「つるおか食文化市場 FOODEVER (フードバー)」にて、レストラン跡地が空いているので、休館中に沖海月が出店してはというお話をいただきました。鶴岡駅前の販わい創出、加茂水族館のPRにも一役買えるかな、せっかくだから海月灯りも出店しようと思いましたが、新たにお店を出すのはとても大変ですね。次から次へとやるべきことが出ててもうてんやわんやでしたが、何とか12月1日プレオープン、6日に無事グランドオープンを迎えることができました。皆さん足を運んでいただけましたでしょうか!?(渡辺)



▲沖海月入口にかっこいいタペストリーを設置



▲調理の様子が見えるオープンキッチン仕様



▲海月灯りでは厳選した商品を取り扱う

## 台中海洋館 オープニングセレモニーに参加してきました



▲MOU 締結の様子

左：加茂水族館 館長 奥泉和也 右：海城有限公司 総経理 何曉光

2025年10月8日に台湾で台中海洋館がグランドオープンしました。そのグランドオープンセレモニーに加茂水族館館長が招待されました。台中海洋館とは、今年5月に一緒に台湾でクラゲ採集を行い交流を深めていました。台湾で採集したクラゲ達は繁殖させてお互いの水族館で展示しています。これまでの交流をより一層深めるため、今回のセレモニーでは、加茂水族館と台中海洋館がMOUを締結することになりました。セレモニーにはたくさんの海外の水族館が参加していましたが、MOUを締結したのは当館のみで、台中海洋館と信頼関係が深く築けていると実感しました。今後もお互いの交流を深めてより良いクラゲ展示を続けていきたいと思えます。(池田 周)

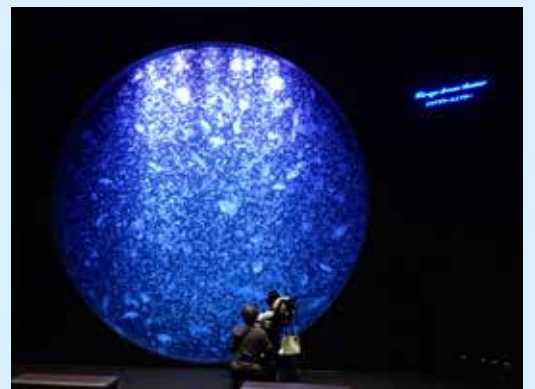
※MOU：お互いの研究者や飼育員の国際的な交流、研究や展示のための標本や資料の交換、クラゲの飼育技術や情報の交換などを行うための協力協定です。

## ゆっくり水族館を開催しました

きっかけは1通のメールでした。

障がいを持つ方のご家族から、ゆっくり水族館を見学する機会を設けてほしい、と。他の水族館でも障がい者向けのイベントを開催していましたが、加茂水族館としてできる形は何だろうと考え、閉館後に障がいを持つ方のご家族が見学できるイベントとしました。1回目は6月、夕方からの開催で参加者は来るだろうかという不安もありましたが、10組以上の方に参加していただき、皆さんに大変喜んでもらいました。

もう1回休館前に！という声もあり、急遽10月に2回目を開催、この日はあいにくの雨でしたが10組以上の参加がありました。売店も開いて、皆さん買い物も楽しんでもらえたようです。リニューアル後も定期的で開催していきたいと思えます。(渡辺)



▲ご家族も一緒にゆっくり見学していただきました

Let's go to the jellyfish research!!

## クラゲ採集に行ってきました

加茂水族館ではクラゲの展示をより充実させるために定期的な調査を行っています。

～クラゲ調査で訪れた地点～

2025年 10月 鹿児島県・広島県 12月 タイ



### タイ

日時：2025年12月14日～12月20日

採集方法：プランクトンネット採集・乗船採集 水温：23.0～28.0℃

データ

12月15日から20日までタイへクラゲ採集に行ってきました。

加茂水族館としては何度も訪問していますが、私個人としては初めての海外採集です。MOU 契約を結んでいるブラパ大学のみなさんと日本からは私たち以外に大学などの研究者さんと一緒に採集を行いました。この調査の目的は日本では展示する機会が少ないミノクラゲを採集して水族館のリニューアルに展示の目玉の1つにすることです。

今回の調査は移動がとても長く、クラゲの出現情報がある数百 km 離れた地点までの道のりを車で移動しながらの採集です。採集後にクラゲをソーティングし、受精卵を採集できそうな種類は卵とりに挑戦、日本に帰るまで状態が悪くならないようにお世話をしました。調査では、ヒロド虫や有櫛動物などのクラゲたちを 30 種類以上採集することができました。

東南アジアではクラゲ漁が行われている地域があり、タイでもクラゲ漁が行われています。クラゲ漁を行っている漁師さんの船に乗せてもらい展示向けのミノクラゲを採集しました。ミノクラゲが出現した海域では傘径 30cm 以上の個体をたくさん見ることができ、とても感動しました！見られたのは大きな個体が多かったのですが、そのなかから輸送ができそうな傘径 15cm 前後の個体を採集することができました！ミノクラゲを採集してからは車で移動しながら、今回お世話になっているブラパ大学の施設に戻るまで酸欠にならないように半日に 1 回の頻度で酸素パッキングで換水を行い良い状態を維持します。

日本に戻ってからはクラゲが冷えすぎないようにケアをしながら水族館へ搬入し、搬入後はクラゲについての寄生虫などを駆除しました。まずは水族館に無事に搬入できたので4月のリニューアルオープンまでに大きく育てて皆さんに見ていただきたいです。ご来館された際はミノクラゲにも注目して見てください！（玉田）



▲採集は砂場や港、乗船などさまざま！

▲クラゲのソーティングや記録撮影作業

▲採集したクラゲたち

## 鹿児島県



データ

日時：2025年10月5日～10月7日

採集方法：漁港でプランクトンネット・柄杓採集 水温：25～26℃

10月5日から7日にかけてかごしま水族館に行き、第二回日本クラゲ飼育技術者研究会ワークショップに参加してきました。全国からクラゲの飼育員たちが集まり、クラゲの飼育について熱く意見を交わしました。二日目にはかごしま水族館近くの水路で採集も行いました。

今回の狙いはプランクトンネットを用いた小さなクラゲでしたが、サカサクラゲやタコクラゲをはじめとした、庄内では見られないクラゲも見ることができました。

加茂水族館ではポリプから繁殖させたタコクラゲを展示していますが、野生個体ほど大きくなることはありません。また、野生個体は口腕付属器も立派に生えており、やはり繁殖個体とは迫力が違うなあと思われ知らされました。

クラゲを飼育している方々との交流は貴重であり、大変有意義な時間を過ごさせてもらいました。

他園館さんとのつながりの心強さをかみしめながら帰路につきました。いつか野生個体に負けないような立派なタコクラゲを展示したいものです。(久保)



▲桜島に見守られながらの採集



▲野生のサカサクラゲ(左)、タコクラゲ(右)

## 広島県



広島大学の練習船、豊潮丸の調査航海に同行させていただき、クラゲ採集に行ってきました。航海は広島湾から豊後水道まで、ちょうど1週間の船旅です。調査海域に設けられたいくつかの測点では、大型のプランクトンネットや採泥など様々な機器を用いた調査が行われます。

船員の方々、一緒に乗船した方々が甲板に集まり、協力して次々と調査を進め、サンプルを捌いていく様子は圧巻です。夜には船の灯りに引き寄せられた大量のヒクラゲたちが集まって来ることも。大きいもので傘高30cmほどもある巨大なクラゲで、今回の様に群れに遭遇することができたのはめったにない機会でした。クラゲの採集には乗船者の方々にもご協力いただき、20種類ほどを入手することができました。天候には恵まれなかったものの、様々なクラゲに出会うことのできた充実した航海でした。採集したクラゲは今後の展示に役立てていきます。



▲豊潮丸



▲丸稚ネット

▲ニューストーンネット

日時：2025年10月23日～10月29日

採集方法：丸稚ネット・ニューストーンネット・手網・柄杓で採集 水温：17～19℃

データ



▲灯火採集

▲ヒクラゲ

## 練馬区出張クラゲ学習会

11月9日に東京の練馬区立関町リサイクルセンターで『山形のあのクラゲ水族館がやって来る!! 親子でわくわく生きたクラゲ学習会』と題した出張学習会を行いました。募集定員の3倍もの申込みがあり、抽選による12組24名が受講。参加した皆様が加茂水族館のことを知っていて、そのうち半数ほどの方々が来館したことがあるとのこと感激しました。

参加者アンケートには絵入りの感想や感謝の言葉が記されていて、大変うれしく思いました。運営のサポートをいただいた職員およびボランティアの皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。(里見)



▲顕微鏡でエフィラのお食事の様子などを観察



▲終了後には素敵なメッセージをいただきました

## 「音楽のタベ」終了のお知らせ

「音楽のタベ」は来館200万人達成の記念イベントとして、2017年6月30日に初開催しました。初回は鶴岡市出身で世界的に活躍されるドラマー磯見博さん率いるJAZZバンド「磯見カルテット」をお迎えし、大盛況となりました。

同年12月からは「クラゲ×音楽」のマンスリーコンサートとして継続して開催。コロナ禍で中断した時期もありましたが、再開後は以前にも増して多くの皆様に親しまれる催しとなりました。

そして2026年3月をもちまして一区切りとし、終了いたします。8年間にわたり支えていただいた皆様へ心より感謝申し上げます。現在は休館中のため会場を「荘銀タクト鶴岡」に移し、開催しております。残すは2026年2～3月の2回となりました。最後まで心を込めて開催してまいります。「音楽のタベ」は終了いたしますが、今後も皆様により一層楽しんでいただけるイベントをお届けできるよう努めて参りますので、ご期待ください(香焼)



▲「音楽のタベ」初回「磯見カルテット」の様子



▲休館中の「音楽のタベ」は荘銀タクト鶴岡で開催。クラゲ水槽を上映し水族館らしさを演出。

# 釣り採集日誌 ～マアジ～



マアジは言わずと知れた日本の代表的な海水魚の一種です。庄内でも真冬を除きほぼいつでも狙えるため、漁港などを中心に誰かしら釣っている印象です。水族館でも船で釣ってくるがありますが、メインで狙うというよりは他の魚を狙ったついでに、いわゆる外道的に釣ることが多いです。とはいえ、立派な展示魚種でもあるので状態の良いものは展示用に持ち帰ります。また秋頃は、小型の個体であれば飼育しているアオリイカ用の餌として最適なため、本命がイマイチでもアジがたくさん釣れるとそれはそれで嬉しくもあります。(後藤)



▲マアジ(展示)



▲マアジ(餌)

▲生簀

## できごと (2025年10月～12月)

● 調査・研究 ● 教育普及 ● イベント ● 売店 ● レストラン ● その他

- 10月1日 ● 休館直前! 記念ステッカー配布(～10月31日)
- 10月2日 ● JAZA 関東東北・北海道ブロック水族館研究会に出席  
表題「サケに発生した細菌性腎臓病と治療の試み」  
○後藤亮太・奥泉和也・渡辺葉平・吉見則夫・廣瀬南帆・菅野響樹・大川優衣(○が発表者)
- 10月4日 ● 加茂水族館ピアノコンサート 開催
- 10月5日 ● 日本クラゲ飼育技術者研究会に出席(～10月7日)  
● 鹿児島県ヘクラゲ採集(～10月7日)
- 10月7日 ● 台中海洋館オープンセレモニーに出席(～10月10日)
- 10月11日 ● <障がい者対象閉館後イベント> ゆっくり水族館
- 10月12日 ● 第48回江戸川区民まつりで加茂水族館のグッズを販売
- 10月14日 ● 東海大学 海洋学部 海洋生物学科 西川淳 博士が共同研究のために水族館に訪問(～10月18日)
- 10月16日 ● JAZA 第2回関東東北・北海道ブロック園館長会議に出席(～10月17日)
- 10月18日 ● [コラボ企画] 加茂水族館 × BABEL LABEL 全国ミニシアターキャラバン  
キャンペーン(～10月31日)
- 10月19日 ● 第72回 音楽のタベ「宮田まゆみ・坂井紅介」出演
- 10月21日 ● 身欠き河豚調理技術大会に出席(～10月23日)
- 10月22日 ● 広島県ヘクラゲ採集[豊潮丸乗船調査](～10月30日)
- 10月25日 ● 水棲動物医学研究会に出席(～10月30日)
- 10月28日 ● ヨーロッパ寿司選手権の審査員を務める、合わせてフランス視察(～11月1日)
- 10月31日 ● リニューアル休館直前! 特別イベントを開催
- 11月1日 ● リニューアルに伴い臨時休館(～3月31日)
- 11月9日 ● 出張クラゲ学習会 山形のあのクラゲ水族館がやって来る!!  
親子でわくわく生きたクラゲ学習会 約24名参加  
● 南陽市にて講話
- 11月12日 ● JAA トレーニングセミナーに出席(～11月14日)
- 11月20日 ● JAZA 海獣技術者研究会に出席(～11月22日)
- 11月25日 ● JAZA 設備会議に出席(～11月27日)  
● 第73回 音楽のタベ「漂流(さすらい) duo ライブ」出演
- 11月30日 ● [シンポジウム] 庄内ミュージアムグッズの世界 in マイニニ に参加
- 12月3日 ● 第74回 音楽のタベ「水晶の詩」出演  
● 船井総合研究所主催のセミナー似て講話
- 12月5日 ● FIGHT11 定例打合せ(～12月6日)
- 12月6日 ● フーデバーにて沖海月・海月灯りが出張営業(～2月末)
- 12月9日 ● 日本サービス大賞授賞式に出席。「地方創生大臣賞」を受賞(～12月10日)  
サービス名: クラゲの魅力と共に広め学び合う ～庄内が世界に誇る 夢の水族館～
- 12月14日 ● タイヘクラゲ採集(～12月20日)



\\ クラゲ展示スペースがパワーアップ! //

## リニューアルオープン!

新たに建てられたクラゲ研究棟

ティージェリー

鶴岡クラゲ研究所『T-JERI』

2026年4月1日(水)

詳しくは水族館 HP をご覧ください



マイクログラフィア



レクチャールーム

既存棟のクラゲ展示水槽も一部リニューアル!

### 加茂水族館公式

つきあかり

## 海月灯り

## オンラインショップ

かもすい オンラインショップで  
「飼育員の暴走シリーズ」を  
はじめとしたオリジナルグッズを  
購入できます

### 3月中旬までの限定ライブ配信

公式 YouTube チャンネルを  
チェック!

期間限定 LIVE 配信!

## サンデーカモスイ

～さがなとご～

3月中旬までの毎週日曜日  
9:30～17:00まで



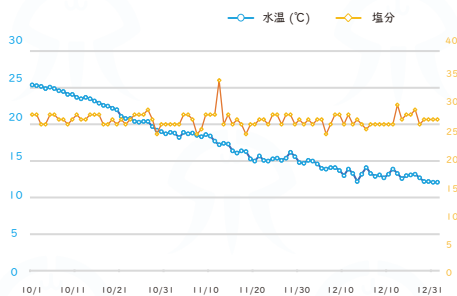
### 加茂水族館公式チャンネル かもすいマスター メンバー募集中

加茂水族館公式チャンネルのかもすいマスターでは  
オールナイトカモスイの過去動画や  
スタッフが編集した動画をご覧になることができます。



### 加茂の水質

2025年10月～12月



### 磯情報



アカモク

最大で数mに達する大型海藻の一種で、冬から春頃に大きく成長します。食用になり、茹でて叩くと粘り気があります。庄内では「ギバサ」などと呼ばれています。



アマフラシ

磯場の代表的な生き物。貝類の仲間、薄い貝殻の名残が体内に残っています。冬場は餌となるアオサ等小型の海藻が多いため、波の弱い浅瀬でよく見られます。

### かもすい通信 Vol.2 No.4 2026年2月発行(通号7号)

- 発行 鶴岡市立加茂水族館 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / TEL 0235-33-3036 <https://kamo-kurage.jp>
- 編集 玉田亮太
- 動物取扱業に関する表示  
代表者氏名: 鶴岡市 市長 佐藤聡 / 事業所の名称: 鶴岡市立加茂水族館  
事業所の住所: 〒997-1206 山形県鶴岡市今泉字大久保 657-1 / 登録に係る第一種動物取扱業の種別: 展示  
動物取扱責任者: 吉見則夫 / 登録番号: 庄保 26 展第 1 号 / 登録の年月日: 平成 26 年 5 月 26 日 / 有効期間の末日: 令和 11 年 5 月 25 日



最新情報は SNS をチェック!

